

▼応募資格 高校生以上であればどなたでも

▼作品 各部門とも一人三点以内。大きさは彫塑のみ等身大以内とし、他は制限がありません。

▼部門 日本画(紙本、絹本とも枠張り表装か軸装) 洋画(油絵、水彩、パステル 素描で額装) 版画(額装) 彫塑(塑造、木彫、石彫) 美術工芸(漆・金・木・竹工 陶芸、染織、人形など) 書道(枠張り表装、軸装) 釈文

添付) 写真(白黒、カラーとも四ツ切り以上。組写真は四ツ切りで、その枚数の合計が全紙大まで。いずれもパネル表装か台紙つき)

▼出品料 無料

▼出品申し込み 五月二十五日まで(社教指導係 ☎023-171-1171)へ

▼搬入の受け付け 五月二十日・二十一日。午後一時から七時まで会場へ

▼出品料 無料

なお、要項の必要な人は、指導係へご連絡を

とき 6月1日 から5日

会場 厚生会館講堂

今年で六回目を迎える市展を、みんなの手でより大きく育てましょう。

開催まであと二十日です。あなたも早目に作品を準備して、出品してはいかがでしょうか。



市展まで31日

みんなので成功させよう

あなたと税務署を結ぶパイプ役が、国税モニターです。

国税について意見や要望などがありましたら、お気軽にモニターにお話しください。

市内では、竹内敏朗さん(桜町五)が、委嘱されています。

不起訴で不服のときは

検察審査会へ

交通事故やその他の犯罪があったとき、犯人の処罰は検察官の起訴により裁判で決まります。

でも、時には検察官の判断で不起訴になるものもあります。

もし被害者のあなたが、この不

とき 五月二十日 午後一時から三時まで

▼ところ 青年教育センター

なお、市史編さん室では、市の歴史にまつわる資料を、さがしています。お持ちの方は、お手数でも同室(☎二八九)へ、ご連絡ください。

▼ご存知ですか

あなたの国税モニター

郷土史講座

起訴処分不服の場合は、検察審査会へ審査の申し立てをすることができます。

詳しいことは、新潟地方裁判所内(検察審査会 ☎025-2433)へ

今月の納税

▼軽自動車税(全期)納税期限は五月三十一日です。

今月の停電

■九日午前八時半から午後一時まで 茨曾根の大部分。東登場、清水の各一部。

■二十七日午前十二時から午前五時まで 諏訪木一、三、四の各大部分。水道町二、四の各半分。

電線に注意を このぼりのポールを立てたり、タコ揚げをするときは電線に十分注意してください。

こわい子どもの水死事故

“水ぬるむ季節”となりました。これから多くなるのが、子どもの水死事故です。

交通事故とともに、保護者から十分気をつけてほしいものです。

善意

どうも—
ありがとうございました

▼母子福祉のために

- ライオンズクラブ……二万円
- ロータリークラブ……二万円

▼図書館に

- 小千田 勇さん(中央通三) 香典返しにかえて……日本近代文学大事典(全六巻)
- 新潟日報社 創刊三十五周年を記念して……児童書九十八冊

24時間 市の情報を
あなたに
お届けします…



情報は1週間ごとに
吹きかえられます

テレホンガイド

- 73-3931 議会日程や交通事故相談など
- 73-3932 日曜日日の当番医や赤ちゃんの健康相談日
- 73-3933 スポーツやレクリエーションなどの催し物

行楽シーズンです

交通事故には十分注意を

春の陽気とともに、人の心もゆるみがちになります。そのゆるんだすきをねらっているものが……とくにこれからは行楽シーズンです。家族でドライブといったことも多くなります。

くれぐれも交通事故にだけは気をつけてほしいものです。

昨年一年間の白根警察署管内で

交通事故相談

▼とき 五月十日 午前十時から三時まで

▼ところ 市役所

▼相談員 県交通事故相談員

起きた、交通事故の状況がまとまりました。

それによると——全国や県では、減少記録を更新していますが、白根警察署管内は残念ながら発生件数、死傷者とも五十一年より増加しました(グラフを参考に)。

とくに死亡者数については十一人と大幅に増え、今年も「事故防止対策重点地域」という、ありがたいくない名をちようだいたしました

事故を防止するために

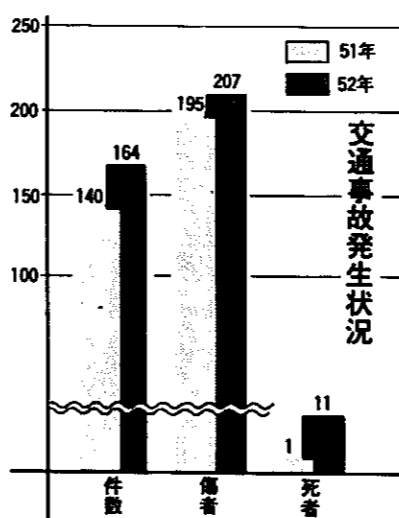
好ましいことではありませんが交通事故が本身に身近なものになりました。親せきで、友人が……

飲んだら
のるな

ゴップ一ぱい五万円 免許停止のおまけつき。

飲酒運転——減るどころか逆に増えていきます。

昨年の検挙状況は百



といった話をよく聞くからです。それだけに、もう他人ごとではすまされません。事故をなくすためには、一人一人が交通の基本を守り、お互いに安全確認をするしかありません。

とくに昨年もそうでしたが、幼児やお年寄りが、事故の当事者となるケースが多だけに、家庭での話し合いを十分持つことが大切です。

二十三年で、五十一年より三十九件も多くなっています。

当然これにまつわる事故もあとをたちません。運転者自身の強い自覚と、周囲の人の「酒を飲んだら絶対に運転させない」という強い意志と習慣が望まれます。

なお、新飯田地区からは、一人の検挙者も出ませんでした。今後とも地区ぐるみで、飲酒運転の追放運動を——。

毎月第3日曜日は『家庭の日』

明るく健康的な人間は、温かい家庭から、毎月第3日曜日の「家庭の日」には、自分の家庭にあった方法で、季節に応じた話題をとりあげて、家族みんなが楽しい一日をすごしましょう。